

製品名: GAR1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11296**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	GAR1 NOLA1
別名	
遺伝子 ID	54433.0
SwissProt ID	Q9NY12
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 110~190

背景

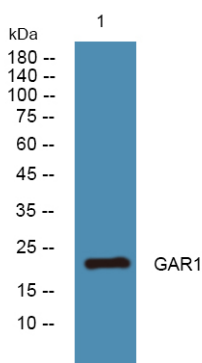
この遺伝子は、H/ACA snoRNP (小型核小体リボ核タンパク質) 遺伝子ファミリーのメンバーです。snoRNP は rRNA のプロセッシングと修飾のさまざまな側面に参与しており、C/D ファミリーと H/ACA ファミリーの 2 つのファミリーに分類されています。H/ACA

snoRNP には、DKC1、NOLA2、および NOLA3 タンパク質も含まれます。これら 4 つの H/ACA snoRNP タンパク質は、核小体の高密度線維成分と核内のコイル (カハール) 小体に局在します。4 つのタンパク質のいずれかが枯渇すると、18S rRNA の生成と rRNA の擬似ウリジル化の両方が損なわれます。これら 4 つの H/ACA snoRNP タンパク質は、テロメラーゼ複合体の構成要素でもあります。この遺伝子がコードするタンパク質には、グリシンおよびアルギニンに富む 2 つのドメインが含まれており、*Saccharomyces cerevisiae* Gar1p に関連しています。この遺伝子には 2 つのスプライスバリエントが見つかっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、ドメイン: SMN1 との相互作用には RGG ボックス領域の少なくとも 1 つが必要です。機能: リボソームの生合成とテロメアの維持に必須。H/ACA 小型核小体リボ核タンパク質 (H/ACA snoRNP) 複合体の一部であり、rRNA の擬似ウリジン化を触媒します。この反応ではウリジンの異性化が起こり、リボースは通常の N1 ではなく C5 に付加されます。各 rRNA は最大 100 個の擬似ウリジン (「psi」) 残基を含むことができ、rRNA の構造を安定化させる役割を果たしていると考えられます。テロメラーゼ逆転写酵素 (TERT) ホロ酵素の RNA 成分である TERC の正しいプロセシングや核内輸送にも必要となる可能性がある。類似性: GAR1 ファミリーに属する。細胞内局在: カハール体 (コイル体) にも局在する。サブユニット: H/ACA 小型核小体リボ核タンパク質 (H/ACA snoRNP) 複合体の一部であり、NHP2/NOLA2、GAR1/NOLA1、NOP10/NOLA3、および触媒サブユニットであると推定される DKC1/NOLA4 を含む。この複合体は、1 つまたは 2 つの NOP10-DKC1 ヘテロダイマーが NHP2 に結合して形成される安定したコアを含み、その後、GAR1 が DKC1 を介してこのコアに結合する。この複合体は、ボックス H/ACA の低分子核小体 RNA (snoRNA) に結合し、RNA 基質内の特定の修飾部位を標的とする可能性があります。また、この複合体は、ボックス H/ACA snoRNA に関連する 3' 末端ドメインを含む TERC とも相互作用します。snoRNA または TERC との特異的な相互作用は、GAR1 および NHP2 によって媒介されます。NOLC1/NOP140 と会合します。H/ACA snoRNP は、SMN1 または SMN2、SIP1/GEMIN2、DDX20/GEMIN3、および GEMIN4 からなる SMN 複合体と相互作用します。これは、GAR1 と SMN1 または SMN2 との相互作用によって媒介されます。SMN 複合体は、H/ACA snoRNP 複合体の正しい組み立てに必要な可能性がある。テロメラーゼホロ酵素複合体の構成要素であり、少なくとも TERT、DKC1、WDR79/TCAB1、NOP10、NHP2、GAR1、TEP1、EST1A、POT1 およびテロメラーゼ RNA テンプレート構成要素 (TERC) から構成される。

研究分野

-

画像データ



HCT116 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、GAR1 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩